

神の手研究所

God Hand Laboratory

REPORT.01

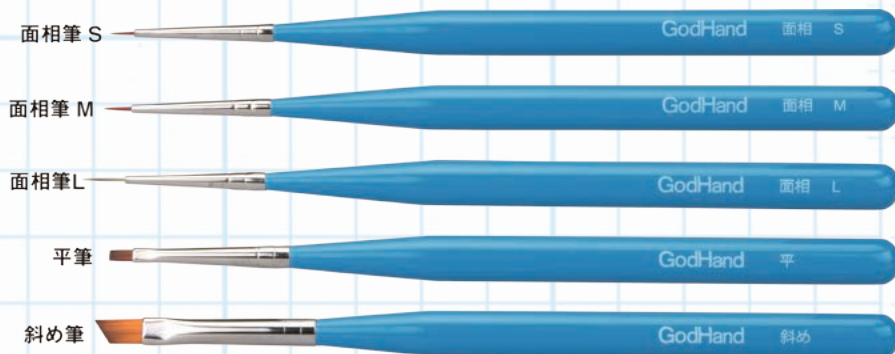
神ふで

神ふで
●発売元/ゴッドハンド●864円(面相筆S、M、L)、1080円(平筆)、1296円(斜め筆)
●ゴッドハンドオンラインショップ限定商品

アルティメットニッパーに留まらず、さまざまな工具を展開しているゴッドハンドの注目商品を隔月連載でお届けする新コーナーがスタート! 本コーナーはゴッドハンドの開発担当自らが新商品の魅力を詳細にご紹介します。第1回はゴッドハンドが贈り出す高品質筆「神ふで」です! 解説/ゴッドハンド

「神ふで」について

神ふでは高品質な日本製のナイロン毛を使用しています。1本の筆に数種類のコシの違う毛を混ぜ合わせることで、滑らかな描き心地と筆先の形に応じた使いやすいコシの強さを追求しています。また、筆先が短いとどうしても塗料の給水量が少なくなってしまうため、描きやすさと吸水力のバランスを考えて、筆先の長さを考えた設計にしています。また日本製のナイロン毛を使うことで品質の安定を図れるメリットがあり、一本一本職人が手作りで作っていることでとても塗りやすい筆になっています。



▲面相筆S / できるだけ筆先を短くしたことで塗布力が高い代わりに吸水力がないので点描を行うときなどに向いています

▲面相筆M / 細く筆先が短いため細かな所でもしっかりと塗りこめます

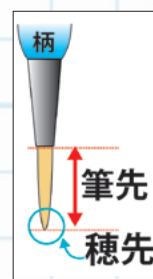
▲面相筆L / 筆先が長くしっかりと塗料を吸収でき奥まった所や、細かい所の塗り分けがしやすいです

▲平筆 / 筆先が短いため細かなところでもしっかりと塗りこめるコシがあります

▲斜め筆 / 幅が広く角度が付いていることで大きな面や細かなところにも小回りが利いて扱いやすいです

神ふでの基本的な使い方

どうもゴッドハンドの開発担当です。今日は神ふでについてお話します。筆は小さいころから学校などで使うので、すごく身近な道具です。でも、意外と身近すぎて大事な基本の部分を知らないことが多いのではないでしょうか。あまりにも身近な道具のためについ簡単に考えられているのですが基本を知って使っていくと色々な応用ができて便利な道具になるんですよ。筆の各部名称は細かくあるのですが今回は筆先、穂先、柄で説明しようと思います。



1 / まず筆に水や溶剤を吸わせませす (これは筆先を吸水タンクとして使うために行います)
2 / 塗料をパレット上で水や溶剤と混ぜて濃度を調整します (この時筆先で混ぜると筆先が傷みやすいのでしっかりと混ぜるときはマドラーなどを

使用するといいです)
3 4 5 / 筆先しっかりと塗料を吸わせませす (穂先だけだとすぐに塗料がなくなったり乾くのでしっかりと描くのが難しくなります)
6 / 筆先の水分量を調節し、適度な水分量にして穂先を整えます (今回は吸水タイプのペーパーパレットを使用しています)
7 / 塗るときは穂先を使って塗りませす (筆先全体を使って塗らませない)
8 9 / 筆はできるだけ筆を立てて使ませす (寝かせて使うと穂先をうまく使ませせん)。筆先が細い筆は特にしっかりと立てて使うといいです
10 / 塗料が乾いて筆先が硬く感じたら筆をしっかりと洗い塗料を落としてからまた筆先に塗料を付けて塗りませす (3)に戻る)
※ただしこれは基本的な使い方です。これで筆の特性を理解したうえでいろいろ応用した塗り方を行うと塗り方の幅を広げ、筆が使いやすくなると思ませす
11 / 完成写真。最後に塗膜保護のためトップコートを吹いて完成です

自社直営店
GodHand
模型工具専門店のゴッドハンド
模型工具に特化して運営している自社直営店
http://shop.godhandtool.com/